

# 季節を知ったら 暮らしが楽しくなった

（第四七一号）

大暑 たいしよ  
七月二十三日

## 川曳

一年でも最も暑い季節「大暑」となりました。

今年の大暑は、暑さに負けてはいられません。伊勢のお木曳行事の「川曳」が行われるからです。神宮式年遷宮の御造営のための「御木」を外宮へ曳き込む「陸曳」に続き、七月二十五、二十六日、八月一、二日の四日間は、内宮へ「御木」を曳き込む「川曳」が行われます。文字通り、五十鈴川の清流の中を曳くのです。

かつては、五十鈴川河口の大湊の貯木池に納められた「御木」は、内宮用と外宮用に分けられ、内宮用は一端、五十鈴川沿いの鹿海の貯木池に置かれ、そこから川曳を行ったとされますが、現在は浦田橋のたもとから宇治橋前までおよそ一キロを曳きます。川曳は神宮から貸し出される木のそりの荷台に「御木」を積むのが特徴です。以前は裸木のまま曳いていましたが、「御木」が傷むため、木のそりにのせるようになりました。そして、宇治橋前のたもとから、内宮神域に曳き上げ、そこからは参道を木のそりで曳いていきます。

陸路を曳く「陸曳」とは異なる点があります。木遣り子の持つ采が、紙製では水に濡れると弱いため、木製であること、お木曳車の「わん鳴り」がないため、ほら貝が吹かれること、橋の下を「御木」がくぐる時には、橋の上は一時通行止めになることなどです。

「川曳」を担当するのは、五十鈴川流域の奉曳団二〇。内宮前の宇治地区から五十鈴川河口の二見町までの町です。「陸曳」が盛大に行われましたから、川曳を待ちに待っていたことでしょう。おかげ横丁のある「宇治奉曳団」は、七月二十六日に曳きます。宇治今在家町、宇治浦田町、宇治館町、宇治中之切町の四町が一つの団として、前回のお木曳から奉仕。揃いの青い法被には、四つの町名が記されています。

文 千種清美



# おかげの里便り

## おかげ横丁

### ○ 伊勢の匠展

伊勢には、この土地の歴史に裏打ちされた神都ならではの工芸品が今ものこっています。ひとつひとつ手仕事で、職人が細部にまで手を抜くことなく、モノに魂を入れていきます。これら伊勢路の工芸品を匠から直接教わり、ものづくりを通して、伊勢の文化に触れてみましょう。

暮らしを豊かに彩る素敵な一品がみつかりますように、伊勢路に伝わる工芸品の数々をどうぞご覧ください。

日 時／7月25日(土)～8月16日(日) 10:00～17:00

(時間は体験内容により異なる)

場 所／伊勢路 名産 味の館2階「大黒ホール」

入場料／無料

### ○ 匠に教わる工作教室

工作教室では、伊勢路の工芸品を匠から教わり、ものづくりを通して、伊勢の文化に触れていただけます。小学生から大人まで幅広く体験していただけますので、ご家族で夏休みの思い出づくりにもいかがでしょうか。

日 時／7月25日(土)～8月16日(日) 10:00～17:00

(時間は体験内容により異なる)※8月8日(土)を除く

場 所／吉兆招福亭前特設会場

お問い合わせ／おかげ横丁総合案内「おみやげや」 電話0596-23-8838

## 五十鈴塾

### ○ 大暑～蝉～

夏の風物詩である蝉の声、日頃聞く機会のない都会っ子にとっては騒音に聞こえるようですが、ツクツクボーシの鳴き声は身に沁む人も多いようです。蝉は基本的に熱帯、亜熱帯地方に多く世界中には3000種くらいいます。日本には30種、ジージーと鳴くアブラゼミ、芭蕉が詠んだ「閑けきや岩にしみ入る蝉の声」はニイニイゼミ、ミンミンゼミは鳴き声そのままの名称となっています。寂しげなのはヒグラシ、夏の終わり頃の朝夕にカナカナカナと優しい声で鳴きます。幼虫で2年～17年も過ごし、地上に出てから1ヶ月くらいで終わるのでちょっと可哀そう。中国では生き返り、復活、再生の象徴で装飾品として玉などに彫られます。日本では古典などで「もののあはれ」の象徴とされています。

## 五十鈴茶屋

### ○ 五十鈴茶屋節気菓子

|               |             |                                                                                         |
|---------------|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| あさ<br>朝       | が<br>お<br>顔 | 夜明けから咲きはじめ、次々と花を開かせる夏の風物詩。<br>白餡をうしろで包み、しっとりと露を置く、朝顔の姿に仕上げました。                          |
| あら<br>荒       | いそ<br>磯     | 紺碧の海から、岩場に激しく打ち付ける波しぶき。<br>その舞い散る様子を、特産の「あおきのり」を練りこんだ羊羹で表現しました。<br>伊勢志摩の磯の風味をご賞味くださいませ。 |
| ご<br>ざ<br>御座の | しらはま<br>白浜  | 御座の白浜は、伊勢志摩で随一の海水浴場。<br>夏になると、海岸はたくさんの人々で賑わいます。<br>白桃の羊羹に、ペパーミント風味の綿玉を重ね白浜を表現しました。      |